

STOP! 介護崩壊 介護ウェーブ2012推進ニュース

「社会保障・税一体改革」阻止・介護保障制度の抜本改善を！！

-今年も介護の"Big Wave" をおこそう！-



5月31日（木）、コープ西大寺店で（社福）岡山中央福祉会の職員5名が参加して、署名行動を行いました。

15時30分からの1時間にもかかわらず、署名が続々…！
「消費税増税？許せませんっ！また庶民負担ですかっ！？」と怒りいっぱいの主婦。「民主党はおえなんだ（ダメだったの意味）！自民党と一緒にやった」と、諦め気味の男性。職員から**「消費税増税をやめさせて、ここで『社会保障と税の一体改革』を食い止めましょう」と**話すと「あんたら介護職も大変なんじゃろう…。分かった」とペンを手に快く署名してくれました。集まった署名は83筆。

なんとしても、この改革を止めて、より良い介護の実現を目指していきましょう。

（岡山中央福祉会 國塩聖和さんより）

What's this?

6月26日に衆議院本会議で、消費税増税法案とともに、「社会保障制度改革推進法案」が強行採決されました。ですが、この**「社会保障制度改革推進法案」って、いったい何？**いつから審議されたの？とお思いの方いませんか？民主・自民・公明3党が20日に国会提出。わずか13時間の審議で採決されています。これは、昨年改正された介護保険法と同じくらいの短い時間です。こんなに審議時間が短い法案ですが、**その中身は社会保障の理念を根本から否定**するものとなっています。「国民が自立した生活を営むことができるよう、家族相互及び国民相互の助け合いの仕組みを通じてその実現を支援していく」。私たちの生活は自分たちで支え合いなさい、と社会保障に対する国の責任を放棄しています。また、「受益と負担の均衡がとれた社会保障制度にするため」と当然のように、受益者負担を認めています。そして、「社会保障給付に要する費用」の「主要な財源」には、「消費税及び地方消費税の収入を充てる」と明言しています。

“国が責任を放棄した内容で、今後、社会保障制度をつくりかえています”というものが、この中身です。この法案を廃案にするためにも

「そうだ！国会へ行こう！そうだ！介護ウェーブだ！」 全職員で奮闘しましょう！

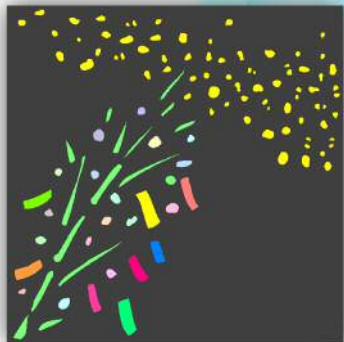


6月21～22日 2012年同時改定対応検討交流集会開催しました。

診療報酬、介護報酬あわせて298名の参加でした。全日本医連HPに集会の資料を掲載しています。

★ページトップ→職員の皆様へ→会員のページ（パスワード）

→介護・福祉部→2012年同時改定対応検討交流集会



2012年6月16日（土）午後、千葉市中央コミュニティセンターにて、「**2012年4月から介護保険はどうなった？新たな介護保険の内容と影響**」をテーマに講演とシンポジウムを行いました。この企画は、千葉市の社保協、労働組合などが組織している“介護で働くみんなの交流実行委員会”、千葉市高齢者と障害者の介護を良くする会（いずれの組織にも民医連は参加）が実行委員会をつくり、実現したものです。今回で**第3弾**です。当日は日経新聞にも告知が掲載され、一般の方、事業所からなど82名が参加し、活発な質疑応答や討論が行われました。

初めに民医連の社会福祉法人・千葉勤労者福祉会の八田英之理事長から「介護保険の動向～過去と未来～」と題して講演があり、この12年間の振り返りと現状の確認、今後、介護保険はどうなっていくのか？税と社会保障の一体改革も含めて学習を深めました。その後、シンポジウムでは、サービス事業所の管理者、利用者、介護しているご家族等4名の方々から報告を頂きました。訪問介護事業所の社長さんは「自らヘルパーやサービス提供責任者として、重度の認知症の方を中心に訪問している。**訪問時には毎回15分ほどは自分が何者なのかを説明するところから始まるので、60分では収まらず**、延長分はサービスで実施。**洗濯機が回っている途中で帰るわけにはいかない**。事業所としては、自分の親に受けさせたいと思える介護を目指すことを理念としている。収入減になったが、介護職員の教育を重視して社内塾を実施し、企業内努力をしている。」と発言。介護者は、「母に子育てを応援してもらったので恩返しのつもりで介護をしている。**母親は元来人見知りだったが、介護サービスを受けて、知らない人と会話ができるようになった**。自分の年金で2人暮らしの家計を支え、**老々介護ニア**である。毎月サービスの回数を調整しながら介護費用を抑えている。お金のことも含めて老々介護はまさしく覚悟が必要」とリアルな日々の生活の様子を紹介。会場からも、「50代で障害者手帳1級。障害者自立支援法のサービスを利用しているが、特定疾病に該当するので要介護認定申請をして、介護保険のサービスに切り替えるよう市の担当者から言われた。」「年金者組合のアンケートでは**生保基準以下で生活している**実態がある。介護保険料も上がって生活が苦しい。医療も介護もまともに受けられない。」「病院は退院までのスピードが速い。在宅介護と言われるが、サービス量も不足している。**我慢と覚悟の上に成り立つ在宅介護はおかしい**」などの発言が相次ぎました。この企画と並行して千葉県社保協では54自治体の訪問介護事業所500カ所を抽出し、アンケート調査に取り組んでいます。**1週間で100カ所以上から返信**がありました。この結果も見ながら、次の取り組みを検討していきたいと考えています。

（千葉県勤労者医療協会 加藤久美さんより）

お問い合わせは、「**介護ウェーブ推進本部**」 事務局：諏佐・山平まで

TEL 03-5842-6451 / FAX 03-5842-6460 / E-mail min-kaigo@min-iren.gr.jp